

ペアレンツキャンプ 水野先生 山下先生

前略

大変ご無沙汰をしております。9月のこの時期は、ペアレンツキャンプの先生方が多忙な季節だと思います。

我が家もちょうどこの時期に、セウ羽詰まって、水野先生に助けていただいた事を思いだすと、感謝で胸が一杯になります。

アンケート送付が遅れてしまい、申し訳ありませんでした。

何度も書いては、いざ送ろうとすると、沢まって親子間のやりとりが不穏になり(私が意識し過ぎて...)。きっとまたPCも卒業~~まで~~^{できる}私ではないのかも...と思い留まるとは、送りどびれてしまいました。

けれど、この中3の夏休みを無事乗り込められたら、必お送ろうと決心しました。そして、お陰様で、夏休み恒例の大爆発日もなく、穏やかに今日を迎えられました。(笑)

息子自身も精神的に大きく成長したのはもちろん、PCで考えた「子供の自立」のための親の態度、あり方を毎日意識したお陰だと感じています。

とはいえ、自分でも、また息子からも「干渉し過ぎ」とは、きりわかる言葉かけも続けている事があります。頭で理解できていても、行動を続けなければ、今までの大変だった日々が無駄になってしまう...。自分で反省しつつも、すぐ改めろ様子よくセウ替えては修業の毎日です。そんな時、水野先生や山下先生のお声や言葉を思い出して、自分に集中しています。

改めて、私の子育てを振り返ると、とにかく「元気で健康で
遅い子」に育てたくて、仕方なかったのです。

息子は十分に元気で健康で遅い子なのに。私は、多少
マイペース気味な息子を心配しすぎて、「もっと早く！たくさん
食べなさい」とか「外で、ハトハトにならまで遊びなさい」とか、
度が過ぎた干渉や命令を続けてしまいました。息子は
おそらく小学校に上がった頃までは、そんな親の言葉や
価値観を当然のことだと思っていたでしょう。

でも、子供も自我が目芽えたり、色々なタイプの友達~~と~~
交わ~~り~~たりする中で、段々~~と~~^{私達}の過干渉や指示命令
が息苦しくなっていたのだと思います。

その事に気付くきっかけが、小2の夏休みでした。

毎日通う学童で、DSの話題についてゆけない。友達に取り
残され疎外感を強く持ち、息子はどんどんネガティブに
なっていました。喜んで通っていたスイミングなどの習い事も、
学校も全部辞めたいとふさぎ込むだけでなく、親や友達
への暴言、自分を傷けよう言動、赤ちゃん返りのような
遊び方などが夏休み中続きました。家族の時間がヒリヒリ
したような生きた心地がしない日々でした。地獄のようでした。

そしてとうとう夏休み明けに「DSを買わないと学校に
行かない」と息子が登校拒否してしまいました。どう対処
すべきか判からず、焦って悩んだ挙げ句、~~私達~~両親は、とにかく
学校に行かせなくては、と、ゲームを与える事を条件づけて学校
に行かせてしまいました。何か間違っているということも感じていました。

息子

~~息子~~の問題行動の根っちは、私の固く偏った価値観の押し付けによる、過干渉や命令が続いた事です。

息子が不登校に陥る前に、PCの水野先生を他の相談機関に紹介して頂き、水野先生には、具体的に家庭内で過干渉な会話を指摘してもらったり、息子の性格、気質を把握した上での関わり方のアドバイスを頂きました。直接、息子と逢った事もないのに、私達家族の事を一番理解して頂いたように感じます。

私が過干渉を少し抑え、一端落ち着いた息子に安心して、支援を卒業しましたが、中学で部活が始まると再び私の固く偏った価値観が、抑えきれず、息子の反抗や問題行動がエスカレートしてしまいました。

再び水野先生や山下先生に、家庭内や電話相談で、何度も丁寧にご指導いただきました。頭では理解できていても、自我、個性の強い息子を前にあると焦ってしまう。つい正論を押し付けようとする自分が、なかなか改められません。

うまくいった会話ややりとりを山下先生にご報告して、アドバイスや励ましをもらったり、失敗した事には「判っているんですよ」と言っただき、いつも伴走していただけた事で私も、「この声かけはやめよう」という心の整理をつける余裕を持つことができました。

とはいえ、このような私は、日々修業中です。とにかく過干渉を減らす事を継続して、PC親の会に参加し学びを深める事が、私の目標です。

支援卒業生の手紙には至らぬが申し訳ありません。

不登校でなくとも親子関係が壊れた私達のような家庭が、PCでの

④

学びを通じて、幸せな親子関係を取り戻せたらと願っています。

水く野先生、山下先生には、心から感謝

申し上げます。そして、ペアレントキャンプの先生方の

ますますのご活躍を心からお祈りしています。

(毎日お礼を言っていますよ)

私も、ここでの学びを、しっかりと実行して、楽しく落着いて
修業しつづけてゆきたいと思います。

親の会に参加できる機会がございましたら

お声かけて頂けるとありがたいです。

諸先輩お母さんのお話を 今後にも話かしたいと

思います。

ありがとうございました。

2016.9.16